さて先般亡の〇 存厂 御蔭をもちまし 旦つ御鄭重なる御香志を賜 御懇篤なる御事慰を忝う 御多七中にもか 御清祥の段 に有難く厚く神礼中 上げます **神尊家神一同樣愈々** 慶賀の至りに 〇儀死去の際は て本日 いわらず早味 上げます

書中をもって失礼下ら謹んで 早速打趨の上御礼中 これ偏に皆様の御蔭と深謝 七七日忌明に当り近親相集い 即挨拶中一 いたす次第でございます 平城二十九年七月 が本意で御座居ますが 00000 なくは要を相管みまし 上げます 0 一上げる

山梨県000000

0

忌明 E いますようお願い中し上げます に除しまして供養のしるしまで 粗品でござ いますが 何辛冲受的